

令和4年度からの「ノートパソコン等準備について」に関するQ&A

Q1. ノートパソコンは何のために必要ですか？

A1. 大学在学中にパソコン操作に習熟し、ICT活用スキルの向上を図ることは、これからのデジタル社会において重要なことであるとの考えから、本学では、学内のICT環境の整備(授業支援システムの更新、無線LANアクセスポイントの増設など)を進めるとともに、令和4年度から学部を問わず全学生を対象とした「文理融合データサイエンス教育プログラム」を開始いたします(他のQ&A参照)。この教育プログラムでは、1年次から情報関連の必修科目(看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部では全学共通科目の一部、盛岡短期大学部では各学科の専門科目の一部)の中でノートパソコンを活用した授業を行います。これらの授業以外でも、授業シラバス・授業資料閲覧、課題提出、メール送受信、連絡事項・休講情報閲覧、成績参照などのために、日常的に授業支援システムにノートパソコンでアクセスする機会があります。

Q2. ノートパソコンをすでに持っていて、新たに購入しなければなりませんか？

A2. 「ノートパソコンを所有している場合の要件」を満たしているノートパソコンをすでに所有している場合は、新たに購入する必要はありません。ただし、ソフトウェア情報学部については、学部ホームページ(<https://www.soft.iwate-pu.ac.jp/>)も参照してください。

なお、所有しているパソコンの使用(スペック)は、型番(機種名、モデル名など)をもとに製造元のウェブサイトなどを参照してください。

Q3. 基本仕様や推奨仕様を満たすノートパソコンはどこから購入したらよいですか？ (令和4年1月更新)

A3. 購入先はどこからでもかまいません。

本学の大学生協では受験生・新入生サポートの一貫として、パソコンや電子辞書等を販売しており、本学の仕様を満たすノートパソコンを、初心者向け講習会やサポート・保証付きで販売しています。購入案内は岩手県立大学生協のホームページ(<https://www.ipu.u-coop.or.jp/>)を参照してください。生協のホームページにある[新入生入学準備サポートページ]をクリックし、さらに[おすすめ教材]をクリックしてください。

Q4. WindowsとMacOSのどちらのOSが搭載されたノートパソコンを購入すればよいですか？

A4. 基本仕様や推奨仕様を満たしていればどちらでも構いません。利用しやすいものを選んでください。

Q5. タブレット型の情報端末でもよいですか？

A5. オペレーティングシステムが、「Windows10以降、または、macOSの最新3バージョン」であり、物理キーボード(脱着式・分離式でも可)による入力ができるならばタブレット型でもかまいません。ただし、タブレットの種類によっては、オペレーティングシステムが「Windows10以降、または、macOSの最新3バージョン」以外の場合もあるので注意してください。

Q6. Microsoft 365がインストールされているノートパソコンを購入した方がよいですか？

A6. 入学後にMicrosoft 365(Word、Excel、PowerPointなどが利用可能)を無償でインストールして利用することができるので、Microsoft 365がインストールされていないパソコンでもかまいません。なお、本学が契約しているMicrosoft 365は在学中、かつ、学生本人に限り使用することができます。ただし、インストールできるパソコンは1台のみです。

Microsoft 365をインストールできるかどうかについては、次のURLの「Microsoft 365とOfficeのシステム要件、家庭向けMicrosoft 365プラン」を参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/>

Q7. すでに Office2019(あるいは Office2021 など)がインストールされているノートパソコンを持っています。

このまま使えますか？

A7. 使うことはできます。入学後に Microsoft 365 を使いたくなったとき、あるいは、Office2019 などのサポート期間が終了したときに Microsoft 365 をインストールすることもできます。ただし、Microsoft 365 をインストールしたら、それまでのもの (Office2019 など)は使えなくなります。

Q8. ウィルス対策ソフトは自分で購入した方がよいですか？

A8. 在学中は、本学が契約しているウィルス対策ソフトを入学後に無償でインストールして利用することができます。自分で購入したウィルス対策ソフト(本学で指定した要件を満たす場合)を利用することも可能です。本学で指定した要件を満たすウィルス対策ソフトの一覧は本学ホームページで公表していきますので、参照してください。

Q9. プリンターも購入したほうがよいですか？

A9. 大学のネットワークに接続することで、大学のプリンターを利用することができます。ただし、学生一人あたりの印刷枚数には制限があります。自宅などでも印刷をしたい場合は購入を検討してください。

Q10. ノートパソコンを毎日持ってこなければいけませんか？

A10. 授業などにおいてノートパソコンを利用する旨の指示があった場合には、あらかじめ充電をすませたうえで持参してください。それ以外の場合の持参は任意ですが、メールの確認やレポートの作成等、毎日の学生生活の中で活用する機会があります。

Q11. ノートパソコンの貸与はありますか？

A11. 経済的な事情などにより入学時までにはノートパソコンの準備が難しい場合には代替機器を一定期間貸与いたします。ただし、貸与可能なノートパソコンの台数に限りがありますので、申請者数が貸与可能な台数を超過した場合には、申請書類をもとに経済的な事情などを考慮しながら選考を行います。また、貸与されるノートパソコンについては、貸与期間は最長1年間、授業に関する目的以外の使用の禁止など、使用に際して制限があります。このための申請手続きについては別途、本学ホームページでお知らせします。

Q12. ノートパソコンの使い方に慣れていません。相談できる場所はありますか？ (令和4年1月更新)

A12. ノートパソコンの使い方に関することには、学生チューター等に相談できるようにする予定です。また、生協からノートパソコンを購入した場合には、初心者向けの講習会や無料点検会などのサービスを受けることができます。なお、パソコンの故障については購入した店舗等へ相談してください(生協から購入した場合は、大学内の生協が窓口です)。

生協から購入したときに受けられるサービスの内容は、購入する機種等によって異なります。詳しくは生協のホームページをご参照ください。

<https://newlife.u-coop.or.jp/ipu/material/>

Q13. 学内でノートパソコンの充電はできますか？

A13. コンピュータ演習室(メディアセンターB棟)など一部の教室では授業中に接続できるコンセントがありますが、他の教室には授業中に受講生全員が接続できるコンセントはありません。基本的には自宅などで充電したうえで持参してください。

Q14. 「文理融合データサイエンス教育プログラムとは何ですか？

A14. 数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的として、令和4年度から開始する全学生を対象とする教育プログラムです。四大学部と盛岡短期大学部、宮古短期大学部、それぞれで数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的に学ぶための科目が開講され、指定された科目を修得することによって修了することができます。

Q15. インテル(Intel)社製のCPUでなければなりませんか？

(令和4年1月追加)

A15. 指定されているOSが利用可能であって性能が同等以上であれば他社製のものでもかまいません。

Q16. インターネット環境は必ず必要でしょうか？

(令和4年1月追加)

A16. 自宅やアパート等からの利用機会が多くなる場合にはご検討ください。オンライン授業がはじまることになった場合には、インターネット環境への接続機器(ルーター等)の貸出を予定しております(台数に限りがあります)。

Q17. 注文したノートパソコンの納品が入学式に間に合わなかった場合はどうしたらよいでしょうか？

(令和4年3月追加)

A17. 新入生オリエンテーションの期間中に、個人所有のノートパソコンへのアプリケーション等をインストールするための説明会(インストールガイダンス)を開催します(令和4年度の場合は4月12日が最終日)。このときまでに間に合えば問題ありません。もし、これに間に合わず、授業が開始されてからの場合には、納品遅延や故障対応のためのノートパソコンの短期貸与制度を利用することができます。なお、個人所有のノートパソコンへのアプリケーション等のインストールは、授業開始後でも、各自で行えます。短期貸与制度、ならびに、インストール方法については、オリエンテーション等を通じてお知らせします。

Q18. 新入生オリエンテーション期間中の「インストールガイダンス」に必ず出席しなければなりませんか？

(令和4年3月追加)

A18. 必要とされるアプリケーションがすでにインストール済みのノートパソコンを所有していれば、参加しなくてかまいません(詳細はオリエンテーションの中で説明)。なお、前期の授業がはじまってからでも、手順書(オリエンテーション等をつうじて配布)をもとに各自でインストールすることができます。また、インストールや使い方で困ったことがあれば、必修科目『情報リテラシー(看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部)』、『情報処理入門(盛短国際文化学科)』、『情報科学概論(盛短生活科学科)』の学生チューターなどからアドバイスを受けられます。

以上